

「羽包み(はくくみ)」

第三号 (不定期発行)

平成21年7月1日

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪1-12-17

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

電話・ファクス 0467-58-6260

E-MAIL shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

【ご送金は ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277へお願いします】

「社会との繋がりで育む」

ホーム長 前川 礼彦

お陰様でつばさの家も3回目の夏を迎えました。その間沢山の少年たちとの出会いもありましたが、つばさの家を通して様々な社会の方との出会いを頂きました。

現在つばさの家には、定期的にボランティアとして来て下さる方が数名おります。

平日はご自身の仕事をされ、休日もお忙しい中いらして下さる方。毎週学校が終わってからいらして下さる方。里親として様々な活動をされながら、多くの支援をして下さる方。その他にも皆さま少年たちに何か協力したいと来て下さる方々。そして定期的にホームのためにと、食材や金品を送って下さる支援者の方々・・・

思えばホームを開設して間もない頃、私たちスタッフと少年だけの繰返す日々がありました。そこでは朝から夜中まで少年の限りのない愛情欲求、試し行動、適切な距離間が取れない毎日に煮詰まり、少年の気持ちを分かろうとしながらも、反面苦しい思いを抱きながら何とか乗り切っていたことを思い出します。

そんな時、来て下さったボランティアさんには本当に救われました。外から来て下さる人がいることで、ホームの煮詰まった空気に風が入り、彼らも私たちもまた適切な関わり、距離間を保てるのです。これはつばさの家にとって無くてはならないことでした。

目の前の生活や仕事がありながら、誰かのために動くこと。私はつばさの家で出会った支援者の方々の「生き方」に触れたとき、改めて胸を突き動かされ、エネルギーを頂く気がするのです。

ホームの少年たちには様々な生き方、人生のモデルに触れて、明日への希望、生きる意欲を育んでもらいたい。そんな想いで一人でも多くの支援者を募ってまいりました。それは彼らだけでなく、我々スタッフやこの通信を通して出会う多くの支援者の方々にとっても生きる活力に繋がる一つになれば幸いです。

人生を振り返ったとき、思い出されるのは人との繋がりではないでしょうか。

つばさの家も生活する少年たちと共に、社会との繋がりにて少しずつ磨かれ、豊かな暮らしを育んでいきたいと思っております。

今後ともどうか湘南つばさの家を宜しく願い申し上げます。